

令和7年度 安全衛生に係る静岡労働局長表彰事業場等名簿

別添

1 優良賞 4事業場

(地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業)

(安全確保対策)

	事業場名	所在地	代表者職氏名	主な業種等	主な受賞理由
1	株式会社スズキ部品製造 スズキ部品浜松工場	浜松市浜名区都田町9670番地	工場長 紅林 正春(くればやし まさはる)	四輪車用のミッションケースのアルミダイカスト铸造、機械加工等	工場設備の新規導入時及び変更時における安全衛生点検基準を制定したうえで、各安全衛生部門関係者が、導入前及び導入時に安全衛生について点検を実施し、運用をしていること
2	株式会社大林組 名古屋支店 (新東名高速道路大御神西跨道橋他3橋(PC上部工)工事)	駿東郡小山町用沢1441-16	所長(現場代理人) 濱田 啓司(はまだ けいじ)	新東名高速道路における大御神西跨道橋他3橋のPC上部工事	橋梁の複雑形状に伴う支保工の複雑化に対し、3次元データを作成し、安全な施工方法を検討かつ実施したこと
3	森永製菓株式会社 三島工場	三島市南二日町11-50	工場長 川馬 利広(かわま としひろ)	即席ココア飲料(粉末ココア)、栄養補助飲料(ゲル状食品)製造	年度計画を作成のうえ、各工程段階の安全性評価に加え、現場参加並びに定期見直しの継続的な改善サイクルを以ってリスクアセスメントを実施したこと
4	エスケー・エヌ NOKフガクエンジニアリング株式会社 静岡工場	菊川市下平川1256-1	代表取締役社長 前田 忠宏(まえだ ただひろ)	電気自動車防振ゴム部品であるマウントやダンパー、燃料電池自動車のシール部品であるセルシール、等の金型製造	各工種の危険有害要因特定標準モデルを作成したうえで、高リスク順の安全衛生対策の展開を実施したこと。

2 奨励賞 5事業場

(地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組みが他の模範と認められる事業場又は企業)

(安全確保対策)

	事業場名	所在地	代表者職氏名	主な業種等	主な受賞理由
1	西松建設株式会社 関東土木支社 (三方原用水二期農業水利事業導水幹線水路トンネル耐震補強工事)	浜松市天竜区 上野地内、青谷地内、浜北区小野地内他	三方原出張所 所長 藤澤 秀樹(ふじさわ ひでき)	農業用水、導水幹線水路の耐震補強対策・老朽化対策工事	関係請負人がリスク危険予知を行うとともに、元請がリスクの算定や改善内容を確認し、リスクアセスメントを実施したこと
2	セイトー株式会社	静岡市駿河区下川原南2-24	代表取締役社長 佐藤 利明(さとう としあき)	土木構造物及び道路安全施設の施工	予め各工種の危険有害要因特定標準モデルを作成し、着工前の施工検討会において同モデルの整合性を確認し、リスクアセスメントを実施したこと
3	社会福祉法人静岡和会	静岡市駿河区丸子3000-1	理事長 寺門 厚彦(てらかど あつひこ)	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・老人福祉センター・訪問事業・デイサービス・小規模多機能ホーム等の運営	年2回の安全衛生状況調査とともに、各拠点においての安全衛生管理計画に基づいたリスクを把握し、リスクを低減化させる措置を実行したこと
4	株式会社橋本組	焼津市本町2-2-1	代表取締役社長 橋本 真典(はしもと まさのり)	総合建設業	作業所開所時において施工条件等の安全性の確認、工法選択などの調整を行い、各工種の作業手順作成時において安全性の評価を行ったうえでリスクアセスメントを実施したこと

(高年齢労働者安全衛生対策)

5	社会福祉法人正生会	焼津市田尻北792-1	理事長 石井 紀子(いしい のりこ)	介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所・通所介護事業所・訪問介護事業所等の運営	高年齢労働者(60歳以上の労働者の占める割合は52%(48人)、最高齢は83歳。)の戦力活用や職場内コミュニケーションの円滑化による勤務環境の改善を実施したこと
---	-----------	-------------	-----------------------	--	--

3 功績賞 1名

(地域の中で、地域、団体又は関係事業場における安全衛生活動において指導的立場にあり、当該地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした個人)

	氏名	所属法人等	所属関係団体等	所属関係団体の概要等	主な受賞理由
1	柳川 明(やながわ あきら)	鈴与株式会社常務取締役	①一般社団法人日本クレーン協会 静岡支部長 ②港湾貨物運送事業労働災害防止協会 東海総支部清水支部長	①昭和38年9月創立のクレーン等に関する技術の向上及び災害の防止に寄与することを目的としている日本クレーン協会の支部で、昭和61年5月に設立し、各種安全衛生活動に取り組んでいる。 ②昭和39年9月1日に設立し、港湾労災防止協会(本部)と連携の上、清水港および田子の浦港における労働安全・労働衛生の管理を推進し、労働災害の防止と労働者の福祉増進に取り組んでいる。	①②の指導的立場として7年以上に亘り、両団体の活動に率先して取り組み、安全衛生水準の向上発展に多大に貢献したこと